

第12回花泉地域統合小学校学校づくり推進委員会

日 時：平成31年2月28日（木）

午後7時～8時

場 所：一関市役所花泉支所 東大会議室（4階）

次 第

【進行：地域振興課長】

- 1 開 会
- 2 挨 拶 学校づくり推進委員会会長
- 3 報 告
（1）各専門部の報告について
- 4 説 明
（1）統合小学校建設に関わる経過と現状について
- 5 協 議
（1）花泉地域統合小学校の通学対策に関わる危険箇所の改善要望について
（2）花泉地域統合小学校校舎・屋内運動場等基本設計の協議方法について
（3）スクールカラーの決定について
- 6 そ の 他
- 7 閉 会

◎ 報 告

各専門部の報告について

会議等の名称	開催期日	協議内容等
通学対策部会 (第9回)	H30.12.6(火)	出席者：12名 協議事項 ・予定通学路の危険箇所の危険度一覧について ・危険箇所の危険度の順位付けについて
通学対策部会 (第10回)	H31.1.24(木)	出席者：10名 協議事項 ・安全対策に関わる要望先について ・危険箇所の確認と要望事項の決定について
校舎等整備部会 (第13回)	H31.1.24(木)	出席者：6名 協議事項 ・基本設計の協議方法について

◎ 説 明

統合小学校建設に関わる経過と現状について

(1) 校舎・屋内運動場建設工事の実設計について

上記の業務を委託するため、業者を選定する指名型プロポーザル方式による企画提案書（プロポーザル）の審査が始まり、3月下旬にはプロポーザルの提案者が特定され、4月中旬に契約予定です。

設計業務は平成32年3月末までを予定しており、初めに、建物の構造や配置、各階の基本的なレイアウト、備えるべき機能や設備等を基本設計としてまとめ、その後、ボーリング調査結果を踏まえながら、基本設計に基づき詳細な実設計を進めます。

(2) 金流川横断樋管の改修について

学校敷地内の雨水排水対策のため、放流先の金流川横断樋管の改修に向けた調査設計を発注していますが、現在、県と設計などについて協議しながら進めています。改修工事は、平成31年10月頃発注予定です。

◎ 協 議

(1) 花泉地域統合小学校の通学対策に関わる危険箇所の改善要望について (別紙送付済資料)

今回、通学対策部会において、統合小学校建設予定地から半径2 km 以内のエリアについて、通学路の危険箇所を整理し、改善要望（案）を作成しました。

これまで、市内小中学校の通学路の安全対策については、市教育委員会、道路管理者、公安委員会（警察）、市安全部局など交通安全対策に関わる諸団体で構成する「一関市通学路安全推進会議」で毎年協議が行われております。

つきましては、今回の推進委員会、若しくは、次回の推進委員会までに、学校づくり推進委員会としての要望内容を決定し、一関市長宛に提出したいと考えております。提出する改善要望は、一関市通学路安全推進会議での検討をお願いする予定です。

(2) 花泉地域統合小学校校舎・屋内運動場等基本設計の協議方法について

1. 基本設計の協議方法について

◇ プロポーザル提案内容から基本設計原案をつくるまでのプロセス（①～③）

- ① 特定されたプロポーザル提案内容について、推進委員全員と小学校・保育園・こども園の保護者等を対象とした説明会を開催し意見等をいただく（期限を定め受付）。
- ② 出された意見を整理し、設計業者と校舎等整備部会で検討し、基本設計原案を作る。
- ③ 基本設計原案を推進委員会に提案する。

◇ 基本設計原案から最終案に仕上げるまでのプロセス（④～⑤）

- ④ 基本設計原案に対する推進委員会の意見等を踏まえ、設計業者と学校代表※、教育委員会、市建設部建築担当課（都市整備課）、花泉支所で定期協議を行い、校舎等整備部会に提案し確認しながら最終案を検討する。
- ⑤ 最終案を推進委員会に提案し、承認を得て、基本設計を公表する。

※ 学校代表の構成メンバーについて

学校関係者から広く意見を聞き、その意見を設計に反映させるため、学校代表の構成メンバーについては、管理職、普通学級担任、特別支援学級担任、養護教員、事務職員等による構成とする。

2. 基本設計業務の大まかなスケジュール

時 期	協 議 内 容
H31.3 下旬	設計業務プロポーザル審査により、プロポーザルの特定
H31.4 中旬	特定したプロポーザルを提案した設計業者と契約
① H31.4 下旬	設計業者によるプロポーザル提案内容の説明会 (案内対象：推進委員、保育園等保護者会、小学校PTA)
② H31.5 末まで	参加者等からの意見集約、校舎等の配置レイアウトや校舎内の教室等レイアウト（案）作成→校舎等整備部会検討 ・部会と業者による検討を重ね、設計原案を確認
③ H31.6 月上旬	基本設計原案の推進委員会への提示（31年度初会合）
④ H31.7 中旬	設計業者と学校代表、教育委員会、都市整備課、花泉支所で定期的協議 適宜、校舎等整備部会の協議を経て、部会で最終案の確認
⑤ H31.7 下旬	基本設計最終案の推進委員会への提示と全体確認
	基本設計の公表へ

(3) スクールカラーの決定について

1. これまでの経過と再提案について

第10回推進委員会（平成30年9月6日）において、学校経営部会から花泉地域統合小学校を象徴する「スクールカラー」として「さくら色」が提案され、継続協議となっておりました。

その後、9月25日～10月11日にかけて開催された統合小学校建設に係る住民懇談会の際に、スクールカラーについてのご意見をいただきました。

出された意見の中には、はっきりしない色という意見や散るイメージがあるなどの反対の声もありましたが、一方で、小学生らしくてよいと思う、きれいな色だと思うなどの意見もありました。また、スクールカラーの活用についての質問もあり、校旗、校章のデザインの一部、体操着のデザインの一部、鉢巻の色、校舎のデザインの一部になる可能性があるかと回答しています。

住民懇談会で出された意見をふまえ、シンボルカラーの使い方に注意しながら、統合小学校を象徴するシンボルカラーであるスクールカラーの選定を以下のとおりまとめ提案します。

2. スクールカラー 「さくら色」

（選定理由）

花泉町名の由来となった花は桜である。日本の代表的な花として、人々から愛され、その色は優しさを感じさせられる。また、爛漫と咲きほこる様は町の未来の豊かさを象徴することから、未来を担う子供たちの健やかな成長にふさわしい色である。

* 花泉地域統合小学校学校づくり推進委員会 第8回専門部会報告書の選定理由より